

【教科】 【科目】	【芸術】【音楽Ⅱ】	2年	2 単位	教科書	ON!2	副教材等	MUSIC NOTE 基礎 から学ぶ高校音楽	履修対象・ 使用教室 等	2学年アクティブコース・音楽選択者
教科・ 科目の 目標	1 年次の授業内容を発展させたものである。表現の分野では、独唱曲や合唱曲、器楽により歌唱力演奏能力を身につける。鑑賞の分野では西洋音楽史の名曲の鑑賞を通して音楽に対する感性和音楽を愛好する心を育てる。また、楽典を学び、簡単なソルフェージュ練習により楽譜を読みそれを演奏する能力を養う。 (1) 音楽の構造や歌詞との関わりについて理解し、創意工夫を活かした曲想・歌唱表現をする。【知識・技能】 (2) 音色、リズム、テンポ等の音楽表現を知覚し、それらの働きを感じながら、どのように演奏表現をするか、思考や表現能力を養う。【思考力・判断力・表現力】 (3) 曲想と音楽の構造や歌詞など、文化的・歴史的な背景との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に、表現や鑑賞する能力を養う。【主体的に学習に取り組む態度】								
評価の 観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
	＊歌唱・器楽表現では（ア）楽譜の正しい読み方を身につけ表現活動に活かす。（イ）曲種や楽曲の構成に応じた表現の工夫。（ウ）楽曲の作曲家や歴史的時代背景を学び、現代の生活や文化の関わりを主体的に感受し、創意工夫を持った表現活動。 ＊鑑賞能力では説明の理解度や感じた事柄を言葉にする。			＊楽曲構成、作品の時代背景や世界各国の文化の交流を知覚・感受し、自己のイメージと合わせた表現が出来る能力を養う。 ＊音楽形式の要素や時代背景や国々の関連を知覚・感受した鑑賞活動ができている。			＊主体的・協働的に歌唱や器楽表現の活動に取り組んでいる。 ＊主体的・協働的に、鑑賞の学習活動に取り組んでいる。 ＊授業の出席率と滞在時間、取り組み態度。		
評価 方法	＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、【A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況】とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総合的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。								
評価 資料・ 評価 比重 〔100点換算〕	評価資料等		予定回数・内容等			知識・技能		思考・判断・表現	
	小テスト		6 回			50%		20%	
	授業用紙		毎回					20%	
	感想文等		4 回					20%	
	実技の取り組み及びテスト		6 回			50%		40%	
	〔観点別配分％〕		〔3 観点の比重を％で示しています〕						
月進行 〔計画〕	【単元名】 学習項目名	配当 時間 〔計画〕	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け〔◎○〕	
						知・技		思・判・表	態度
4 5	歌唱 音符や休符の名前と長さ	12	上を向いて歩こう やさしさに包まれたなら ワーク（音符休符の名前と長さ）			小テスト	◎	○	○
						授業用紙		◎	◎
						取り組み	○	◎	◎
6 7	歌唱 リズム唱・リズム打ち 鑑賞	12	オペラ座の怪人 Memory ワーク（リズム唱、リズム打ち） 魔法使いの弟子			小テスト	◎	○	○
						授業用紙		◎	◎
						取り組み	○	◎	◎
						感想文		◎	
8 9	歌唱 リズム唱・リズム打ち 鑑賞	10	歌の翼に ていんさくめ花 島人ぬ宝 ワーク（リズム唱、リズム打ち） ヴァイオリン協奏曲			小テスト	◎	○	○
						授業用紙		◎	◎
						取り組み	○	◎	◎
						感想文		◎	
10 11	リコーダー リズムトレーニング 鑑賞	16	リコーダー基礎、ソロ演奏 ワーク 交響詩「ローマの松」			小テスト	◎	○	○
						授業用紙		◎	◎
						取り組み	○	◎	◎
						感想文		◎	
12 1	リコーダー リズムトレーニング アンサンブル	10	リコーダーアンサンブル 野菜の気持ち						

学習のアドバイス	*授業に参加する姿勢（出席率・授業滞在時間・取り組み状況）が何より大切です。
----------	--